

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公表番号】特表2007-506742(P2007-506742A)

【公表日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-528071(P2006-528071)

【国際特許分類】

C 0 7 D 239/88 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

C 0 7 D 239/90 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 D 239/96 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 239/88

C 0 7 D 471/04 1 1 7

A 6 1 K 31/519

C 0 7 D 239/90 C S P

A 6 1 K 31/517

C 0 7 D 487/04 1 4 0

C 0 7 D 239/96

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/55

C 0 7 D 487/04 1 5 0

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月12日(2007.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

5 - (3 - フルオロフェニル) - 3 - メトキシ - 5, 5a, 6, 7, 8, 9 - ヘキサヒドロ - 11H - ピリド [2, 1 - b] キナゾリン - 11 - オン、

(5, 6 - cis) - 5 - (3 - フルオロフェニル) - 3 - メトキシ - 11 - オキソ - 5, 6, 7, 8, 9, 11 - ヘキサヒドロ - 5aH - ピリド - [2, 1 - b] キナゾリン - 6 - カルボキシレート、

エチル (5, 6 - cis) - 11 - オキソ - 5 - フェニル - 5, 6, 7, 8, 9, 11 - ヘキサヒドロ - 5aH - ピリド [2, 1 - b] キナゾリン - 6 - カルボキシレート、

7 - メトキシ - 2, 3 - ジメチル - 1 - フェニル - 2, 3 - ジヒドロキナゾリン - 4 (1H) - オン、

6 - メトキシ - 4 - フェニル - 2, 3, 3a, 4 - テトラヒドロピロロ [2, 1 - b] キナゾリン - 9 (1H) - オン、

3 - メトキシ - 5 - フェニル - 5, 5a, 6, 7, 8, 9 - ヘキサヒドロ - 11H - ピリド [2, 1 - b] キナゾリン - 11 - オン、

3 - メトキシ - 5 - フェニル - 5a, 6, 7, 8, 9, 10 - ヘキサヒドロアゼピノ [2, 1 - b] キナゾリン - 12 (5H) - オン、

7 - メトキシ - 2 - メチル - 4 - オキソ - 1 - フェニル - 1, 4 - ジヒドロキナゾリン - 1 - イウムクロライド、

2 - tert - ブチル - 7 - メトキシ - 1 - フェニルキナゾリン - 4 (1H) - オン、

2 - シクロヘキシル - 7 - メトキシ - 1 - フェニルキナゾリン - 4 (1H) - オン、および

3 - シクロプロピル - 7 - メトキシ - 1 - フェニルキナゾリン - 2, 4 (1H, 3H) - ジオン

からなる群から選択される化合物、または医薬として許容できるその塩。

【請求項 2】

その治療が $K_v 1.5$ 阻害により達成されるか又は促進される、哺乳動物における状態を治療するための医薬組成物であって、 $K_v 1.5$ の阻害において有効である量の請求項 1 の化合物を含む、前記医薬組成物。

【請求項 3】

前記状態が心不整脈である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記心不整脈が心房細動である、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記心不整脈が心房粗動、心房不整脈および上室性頻拍からなる群から選択される、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

その予防が $K_v 1.5$ 阻害により達成されるか又は促進される、哺乳動物における状態を予防するための医薬組成物であって、 $K_v 1.5$ の阻害において有効である量の請求項 1 の化合物を含む、前記医薬組成物。

【請求項 7】

前記状態が心不整脈である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記心不整脈が心房細動である、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記心不整脈が心房粗動、心房不整脈および上室性頻拍からなる群から選択される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記状態が血栓塞栓事象である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記血栓塞栓事象が脳卒中である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 2】

前記状態がうっ血性心不全である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

医薬として許容できる担体および請求項 1 に記載の化合物または医薬として許容できる結晶形態もしくはその水和物を含む医薬製剤。

【請求項 1 4】

請求項 1 に記載の化合物および医薬として許容できる担体を組み合わせることにより作製される医薬組成物。

【請求項 1 5】

K v 1 . 5 の遮断活性を有する抗不整脈剤類、A C E 阻害剤類、アンジオテンシン I I アнтаゴニスト類、強心配糖体類、L タイプカルシウムチャネル遮断剤類、T タイプカルシウムチャネル遮断剤類、選択的および非選択的 遮断剤類、エンドセリンアンタゴニスト類、トロンビン阻害剤類、アスピリン、非選択的 N S A I D 類、ワルファリン、X a 因子阻害剤類、低分子量ヘパリン、非分画性ヘパリン、クロピドグレル、チクロピジン、I I b / I I I a 受容体アンタゴニスト類、5 H T 受容体アンタゴニスト類、インテグリン受容体アンタゴニスト類、トロンボキサン受容体アンタゴニスト類、T A F I 阻害剤類および P 2 T 受容体アンタゴニスト類からなる化合物のクラスのうち 1 種から選択される化合物を更に含む、心不整脈を治療するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

心房細動を有する患者における正常な洞調律の状態を誘導するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

抗頻拍装置と共に使用される、患者における頻拍を治療するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。